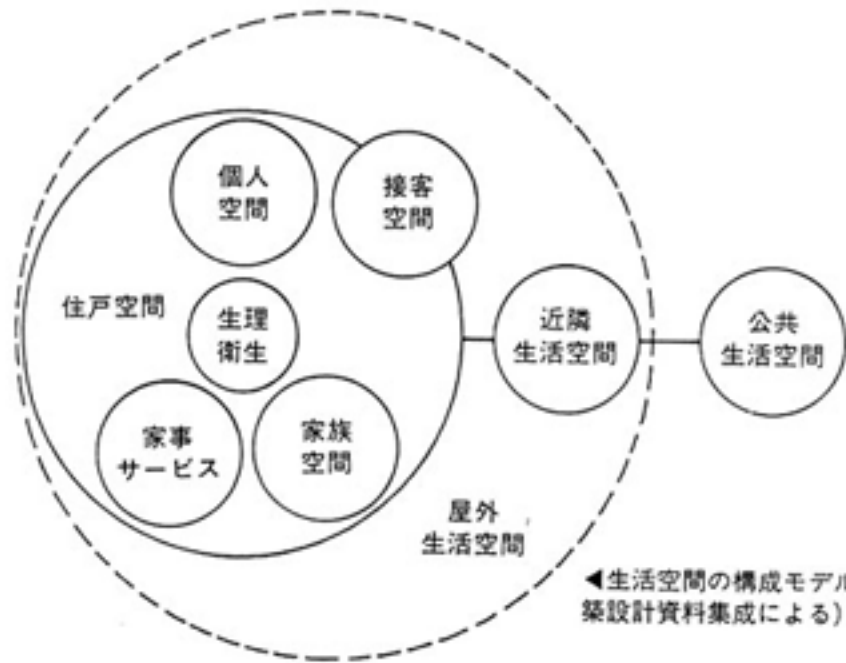


# 部屋と部屋のつながりを考えるためのポイント

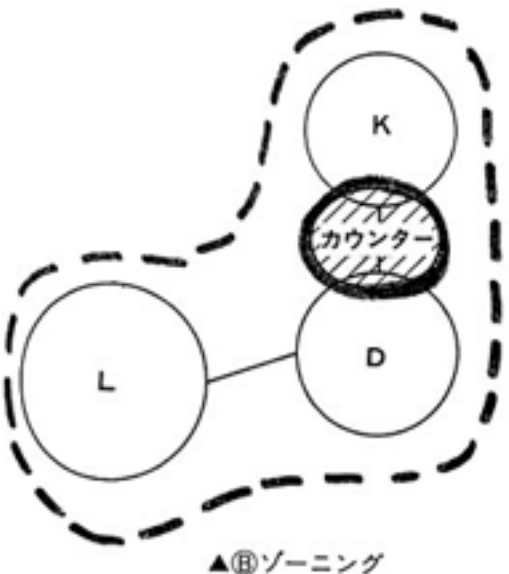
図・文／本多和夫



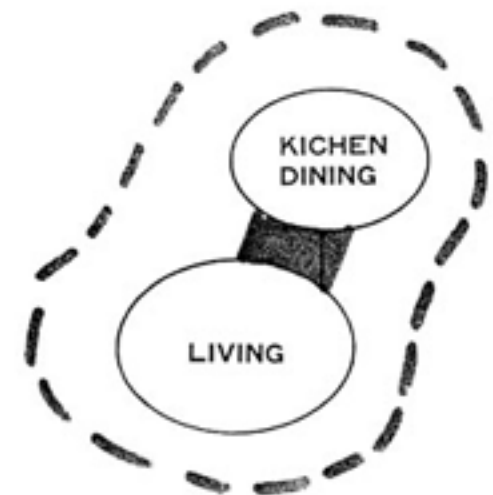
① タイニングキッチン  
 食堂と台所を一室として作るの、合理的で作業動線は最も短かくてすみずみです。また、モーニングテーブルやファミリーダイニングとして設ける場合もみられます。台所は汚れやすく雑然としがちです。排気などに気をつけ、収納部分を多く取るなどの配慮が必要です。厨房セントラを部屋全体のインテリジェントと調和させることで一体感のある快適な空間になります。

② カウンターキッチン  
 台所と食堂との中間にカウンターを設けて、両者を接続させている例です。台所での作業を食堂からは隠し、しかも台所と食堂との作業動線が太くなる部分を、カウンター幅50cmくらいのもの、最短距離としています。台所にいなから食堂・居間までも見渡せるので、小さい子どもがいる家庭などに適しています。また、とかく主婦一人になりがちな台所仕事に、家族が参加しやすい形式でもあります。

③ エンドレスな動線  
 玄関→居間→食堂→台所→玄関と、エンドレスな動線をもつ配置です。行きどまりの無い配置は、裏動線がとれ、動きの二方向性があつて余裕が生まれます。



▲②平面図 カウンターを設けて台所と食堂を接続させている



▲①ゾーニング



▲④平面図 食堂と台所を一室として考えた動線が短いプラン

## 台所と食事室のつながり

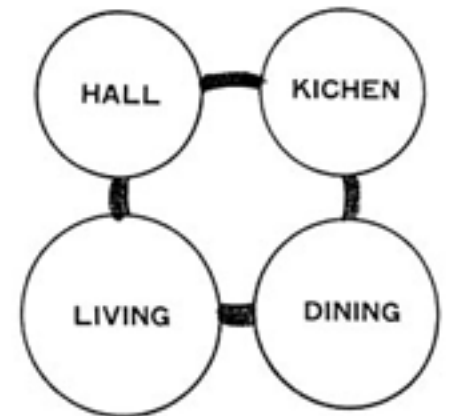
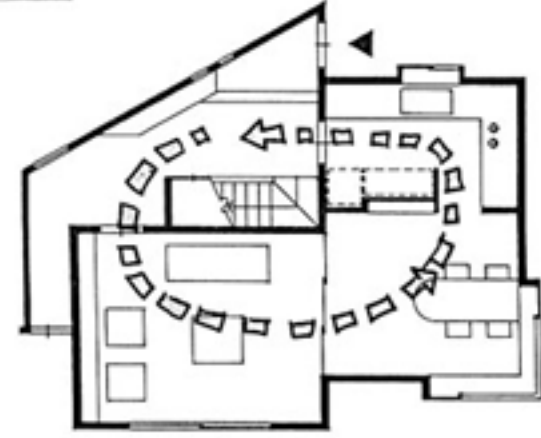


▲④平面図 玄関入ってすぐ居間のある、動線の短い合理的配置



①階平面図 中庭が設けられた動線の長い建築

▶③平面図 エンドレスな動線を持つ配置は動きに余裕が生まれる



▲③ゾーニング

## 玄関と居間のつながり

今回は、部屋と部屋とのつながりについて考えてみます。  
 部屋のつながりというところ、まず廊下や階段が頭にかかびます。機能分化させた部屋を廊下でつなげていけば、確かに部屋はつながりますが、それだけでは既存の学校建築や病院建築などのように、味もつるおもしろい建物になってしまいません。また、道路のための独立したスペースである廊下の面積があまり多いと、肝心の部屋の面積が無理がてきまします。ただ単に、廊下と部屋をつなげた分割方式の間取りではなく、余裕とゆるみのある住まいにするためには、廊下(動線)を部屋の中に取り込んだり、部屋のつながりに工夫をこらしたりすることが必要です。平面的なつながりだけでなく、快適な採光・通風を得られ、外部の自然を取り入れるなど、立体的な空間として住まい全体を考えると、ここでは一番大切な作業になります。

① 一番短かいつながり  
 玄関を入ると、ホールにつながってすぐ居間があるタイプです。動線の短かい合理的な配置ですが、うるおいに欠けやすいので、開口部の工夫や照明などで視覚上の変化を与えたいものです。

② 長い動線をつなぐ  
 玄関と居間とを廊下でつなぐ家は、日本建築によくみられた様式です。現在ではその良い所を生かし、自然を取りこんだ中庭や光庭を設けて明るくゆとりのある空間としています。

③ エンドレスな動線  
 玄関→居間→食堂→台所→玄関と、エンドレスな動線をもつ配置です。行きどまりの無い配置は、裏動線がとれ、動きの二方向性があつて余裕が生まれます。

## 用語辞典 〈間取り・動線〉

間取りとは、住まいにおける部屋の配置を考えることで、ゾーニングで大まかに分けられた区画を、さらに必要な部屋の数・広さ・並べ方など、具体的に検討することです。

間取りを考えるときのひとつの指針になるのが動線です。動線は、家の中で人が動きまわる方向やその量を示した線をいいます。

例えば、食事のかたづけ（食室・台所）をしながら洗濯機を通し（台所・洗濯場）、来客のため部屋を整える（台所・客間）といった家事分

割のための動線。また、玄関・客間・洗面所という来客の動線などもあります。

一般に、動線は短かい方が疲労も少なく好ましいとされています。また、例にあげた前者のプライベートな動線と後者の来客の動線などのように、異なる動線は交わらないようにする方が快適です。

ただし、あまりに合理的に動線を整理しすぎると、プライバシーが侵されたり、居間が通路化するなど間取りに余裕がなくなることがあります。

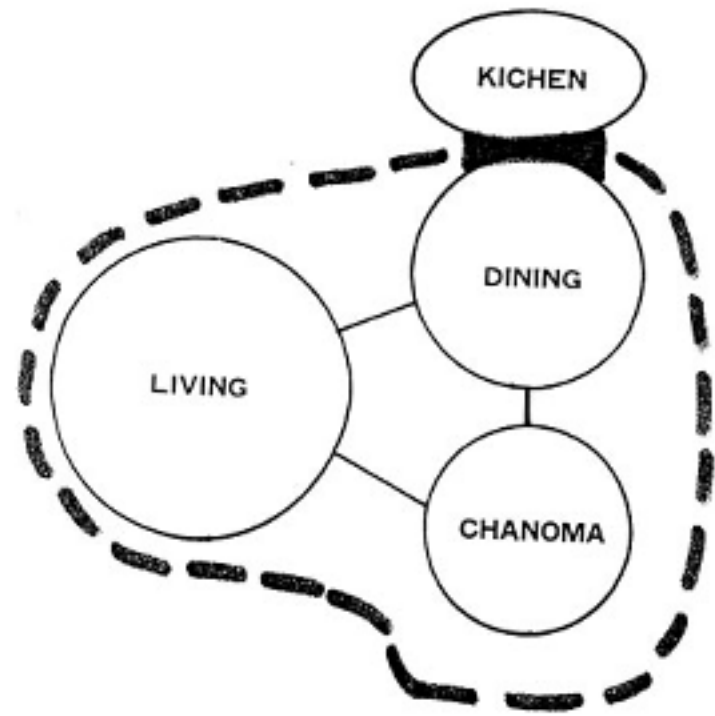
すから注意しましょう。

間取りは普通、平面的なプランで考えられることが多いのですが、実際の住まいは立体的な空間です。風の通り道や光のたどるすまいなども考慮し、壁・天井・開口部や家具の配置までも総合的にイメージして、自分の間（空間）を取り込むことが間取りであるといえます。

ここでもまた、住まいに何を求めるか、何を快適と考えるかが、間取りを決定する重要な要因になります。



▲◎平面図 台所での機能性を重視した独立型。



▲◎ゾーニング